



客員研究員 市村敏世  
広報委員長 吉高愛望

2022/04/11

# CRS細胞農業研究会ニュースレター

## | 目次

- 1. ハイライト
  - インテグリカルチャー 無血清基礎培地による細胞培養技術を開発
- 2. ビジネス環境
  - 2021年の米国でのプラントベース食品の売上データ公表 代替肉は成長失速か
  - Eat Just社 代替卵液「JUST Egg」のコア原料がEUで上市認可を取得
- 3. 最後に

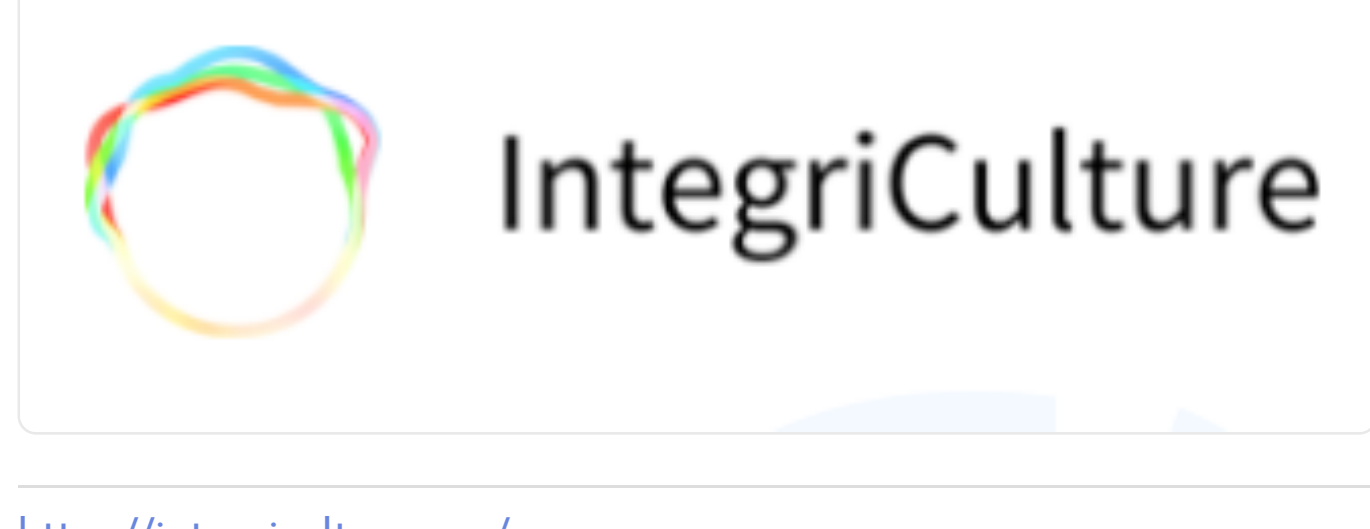
## ハイライト



2022/04/01

### インテグリカルチャー 無血清基礎培地による細胞培養技術を開発

世界初 臓器間相互作用を用いた培養肉生産方法を樹立—  
無血清基礎培地によるニワトリ・カモ肝臓由来細胞の培養法—



<https://integriculture.com/>

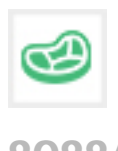
#### サマリー

- インテグリカルチャー社は、独自の臓器間相互作用を用いたカルネットシステムによる、無血清基礎培地での細胞培養技術を開発したと発表
- 一般的に細胞培養のためには、ウシ胎児血清（FBS）に代表される動物血清を基礎培地に添加することが必要となるが、FBSを含む基礎培地はコストが高く、完全にアニマルフリーな培養肉を実現するためにはFBSを代替する必要がある
- インテグリカルチャーが開発したカルネットシステム（CulNet® system）では、製品となる細胞を培養するバイオリアクター（培養を行うタンク）とは別に、血清様成分を放出する細胞（フィーダー細胞）を培養するフィーダー槽を設置。フィーダー槽から血清成分が供給され続けるシステムを構築した
- 同社はカモとニワトリの肝臓細胞での実験結果を公表しており、これによるとFBSを用いた培地よりも、カルネットシステムを用いた場合の方が細胞の増殖速度は速いとされている。

#### コメント：

- 日本ではFBSが食品添加物として認可されていないため、FBSを用いた方法で培養された製品の販売には制約が生じる可能性も指摘されています。そうしたなか、今回インテグリカルチャーが無血清培地による培養技術を確認したことは、日本での上市に向けた大きな前進と評価できます。なお、無血清培地技術については、イスラエルのMosa Meat社なども開発に成功しており、世界的にも注目の分野となっています。

## ビジネス環境



2022/03/24

### 2021年の米国でのプラントベース食品の売上データ公表 代替肉は成長失速か

U.S. plant-based food retail sales hit \$7.4 billion, outpacing total retail sales, despite supply chain interruptions and pandemic restrictions creating widespread volatility in the food industry



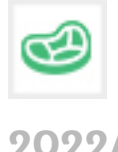
<https://www.prnewswire.com>

#### サマリー

- マーケット調査会社のSPINSは、Good Food Instituteなどと共同で、2021年の米国におけるプラントベース食品の小売売上統計を発表
- カテゴリ全体としては74億ドル（約8140億円）の売上高で、昨年比6%のプラス成長となった
- 内訳では、プラントベースミルクが26億ドル（約2820億円）で最も割合が大きく、昨年比でも4%のプラス成長となった
- 一方、プラントベースミートは昨年とほぼ同じ14億ドル（約1540億円）に止まり、市場規模の成長が伸び悩みを見せている。

#### コメント：

- 2021年中から大手代替肉メーカーのBeyond Meat社の業績悪化などが伝えられていましたが、市場全体でも代替肉分野の成長速度の低下が明らかになる結果となりました。一方、代替乳分野は着実に成長を続けており、米国内の飲料乳市場のうち16%がプラントベース製品によって代替されていると伝えられています。



2022/04/05

### Eat Just社 代替卵液「JUST Egg」のコア原料がEUで上市認可を取得

European Commission Approves JUST Egg's Key Ingredient as Plant-Based Brand Plans Fourth Quarter Launch



<https://www.businesswire.com>

#### サマリー

- 米Eat Just社が、同社の主力商品である代替卵液の「JUST Egg」のコア原料である緑豆タンパク質について、EUでの上市認可を取得した
- 今回の上市認可は、EUの新規食品規則に基づくもので、認可の有効期限は5年間。Eat Just社以外の事業者が今回の認可を受けて緑豆タンパク質を含む商品を販売することはできない
- 今回の上市認可を受けて、同社は今年第4四半期のJUST EggのEUでの販売開始を予定している。

#### コメント：

- 代替卵は、代替乳製品と並んで今後の成長が期待される分野で、SPINSの統計によると2021年の米国での市場規模は昨年比で42%のプラス成長となっています。日本でもキューピーやネクストミーツが昨年、相次いで代替卵商品をリリースしています。JUST Eggは米国での代替卵市場の成長を牽引している、いわばリーディングプロダクトであり、欧州での今後の展開が注目されます。

## 最後に

イベント告知や皆様のニュースリクエストなど、本レターに載せてほしい情報や興味深い内容などありましたらぜひお気軽に共有ください。

### Foot note

当サイトのコンテンツや情報において、可能な限り正確な情報を掲載するよう努めますが、情報の正確性・最新であることを必ずしも保証するものではありません。当レターに掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。また、\$1=110円、€1=130円で計算しております。

### メルマガ購読登録

[こちらから購読登録](#)